

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(福井県立坂井高等学校)

1. 取組についての評価

企業からの教員に教えてもらうということではなく、生徒が自分たちから学びに行くという雰囲気になっているように聞こえる。それはとても大事な事だと思う。活動事例がバラエティに富んでいて、それだけ地域に学習リソースが潤沢にあるということなのだと思う。また、生徒が学科を超えて学習内容に関心をもって学びに行くのも素晴らしい。この生徒達は、地域の潜在力について知っているからこそ、それを学ぼうとしているように思われる。

自走について、地域、役所を巻き込んだコンソーシアムが計画されていて、手弁当でも30企業の内諾を得ているというのはとても素晴らしい。就職実績がないところからもオファーが来ていることを考えると、地域からの期待も大きく、マイスター事業で行ってきた活動に対して賛同を得ていることがうかがえる。

2. 今後の課題と考えられること

卒業生の成果がフィードバックされて、学校が元気になるという好循環サイクルをいかに可視化するかが大事かと思う。学校のウェブサイトやその他の手段で、地域に向けて発信することを考えたい。
更に、特に中学校へのアピールも大事で、すでにいろいろな中学校からのリクエストが来ているのはとてもよいが、それを小中学校における総合的な学習の時間やキャリア教育とつなげて積極的に、放送部だけでなく、より多くの生徒が自ら情報発信していくというように検討することも考えたい。